

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目    款：商工費    項：商工費    目：商業振興費

### 事業名    **新**日本酒電子カタログ作成事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部    県産品流通支援課    海外展開係    電話番号：058-272-1111 (内 3118)

E-mail： [c11370@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11370@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費                    8,900 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,900	0	0	0	0	0	0	0	8,900
決定額	8,900	8,900	0	0	0	0	0	0	0

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

日本酒販売市場は人口減少による国内市場の縮小に加え、新型コロナウイルスのまん延による世界各国への渡航制限により、海外の国際見本市への出展や海外バイヤーの招へいによる商談会の実施等の販路開拓が困難な状況にある。

そのため、国内外バイヤー・レストラン関係者へ県内酒蔵事業者の日本酒をより効果的・総合的にアピールするため、電子媒体の日本酒カタログを作成して、国内・海外への展開を支援する。

### (2) 事業内容

国内外への販路開拓を希望する県内酒蔵の日本酒について、日本酒ソムリエ、利き酒師や料理人等の専門家による味わい、香り等を客観的に分析し、各種料理に適した日本酒銘柄や、専門家が推奨・提案する日本酒の飲み方等を掲載した電子カタログ (日本語、英語、仏語、中国語版) を作成して、県産品紹介 Web サイトにて情報発信し、国内外バイヤーとのオンライン商談会や国際見本市への出展の際に活用する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

海外渡航が困難な状況下において、個々の酒造事業者が新たに海外販路開拓を行うことは困難である。また、県内酒造業者の銘柄及びその特徴等を総合的・客観的に把握できる電子カタログの作成には、専門家などの公平な立場からの審査が必須となるため、個々の事業者では実施が困難であり、県事業として実施することが適当である。

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	72	関係酒蔵等への出張旅費
需用費	120	雑貨及び事務消耗品
役務費	60	通信運搬費
委託料	8,618	電子カタログ作成業務
その他	30	プロポーザル審査員報償費
合計	8,900	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
  - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
    - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
      - ④「ぎふ」ブランドづくり
- ・岐阜県成長・雇用戦略
  - 6 戦略を推進するための基盤づくり (3) 販路拡大・海外展開
- ・岐阜県SDGs未来都市計画
  - 1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組
    - (1) 自治体SDGsの推進に資する取組
      - ②経済面：世界に誇る「ぎふブランド」の創造と発信

## (2) 国・他県の状況

他県においても同様の電子カタログを作成している事例があるが、多言語化したものはないため、海外への販路拡大に向けた特徴的な取り組みとなる。

## (3) 後年度の財政負担

掲載情報の定期的な更新（3～5年毎）を行うことで、バイヤーに対してより訴求力のあるカタログとなるため、今後の社会・経済情勢の変化等を見て更新の必要性を判断する。

## (4) 事業主体及びその妥当性

公的機関である県が主体となって、県内酒造業者の銘柄及びその特徴等を総合的・客観的に発信することにより、電子カタログ掲載内容に対する信頼度が高くなり、また、電子カタログの作成には、専門家などの公平な立場からの審査が必須となるため、個々の事業者では実施が困難であり、県として実施することが適当である。



# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・コロナ禍において国内外への展開が困難となっている県内酒造事業者の販路を拡大し、アフターコロナにおける更なる販売促進への足がかりとする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R2)	実績	目標	目標	(R)	
① 酒類輸出金額						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>3</p> <p>・長引くコロナ禍により、県内酒造事業者の販売量も減少傾向にあり、また海外への販路開拓が困難な状況になっており、当該事業の必要性が増加している。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>
----------------------------

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	